

In November 1955, the much-awaited "Funabashi Heath Center" was opened. The large leisure facility, was equipped with a spa, amusement park, theater, and other forms of entertainment. It was promoted with a widely popularized commercial song, and quickly entered the limelight countrywide contributing Funabashi's rapid growth.

Apartment complexes Maebara and Takanedai first received residents in 1960 and 1961, respectively. Furthermore, the completion of large-scale landfilling of Tokyo Bay (which reclaimed approximately 165 hectares - the present Hinode-cho, Sakae-cho, and Nishiura regions) led to a rapid population rise of 100,000 in 1953 to 200,000 in 1964.

Additionally, the population increase necessitated the development of a public rail infrastructure. Nishi-Funabashi Station was opened on the JR Sobu Line in 1958, and Takane-Kodan Station on Shin-Keisei Line in 1961.

In 1963, the city established a long term comprehensive development plan for the support and encouragement of cultured, healthy communities.

昭和30年代

船橋市70年の歩み

大規模団地の建設により人口が急増

昭和30年11月、市民待望の「船橋ヘルスセンター」が開業。温泉や遊園地、大劇場など多くの施設を備えたレジャースポットは、「長生きチョンパ」のコマーシャルソングで一躍全国的に有名になり、船橋市の発展に貢献しました。

昭和35年には前原団地、翌36年には高根台団地の入居が開始。さらに、50万坪の公有水面大規模工事（現在の日の出・栄町・西浦）が完了し、船橋は人口急増時代を迎えました。昭和28年に10万人だった人口が、昭和39年には20万人を突破しました。

また、人口の増加に合わせて鉄道網も発達していききました。昭和33年には国鉄総武線西船橋駅が開業、昭和36年には新京成線高根公団駅も開業しました。

昭和38年、市は文化的な住みよい環境づくりを目的とし、「長期総合開発計画の構想」を策定しました。



■高根台団地の入居が始まる 昭和36年



昭和32年(1957年)				昭和31年 (1956年)				昭和30年 (1955年)																															
12月	10月	8月	6月10日	4月1日	2月3日	1月15日	12月10日	12月	11月	10月1日	10月18日	9月15日	8月3日	7月21日	5月	4月21日	3月	12月14日	11月1日	10月1日	9月13日	6月	5月1日	4月21日	3月18日	1月1日													
ソ連、人工衛星スプートニク1号打ち上げ成功 百円硬貨発行				東海村に原子の火とる 五千円札発行				市立船橋高等学校開校 豊富公民館（現北部公民館）開館				市制施行20周年記念式典 船橋くす市川間自動即時電話開通				東武野田線 新船橋駅開業 千葉県船橋警察署新築移転 スエズ戦争始まる				東京の一部地域と船橋間自動即時電話開通 東海道本線電化完成 日本、国際連合に加盟				第1回市営船橋オートレース開催 中山駅前ネオンアーチ完成 新京成線 京成津田沼～松戸駅間全線開通 第7代市長に高木良雄就任 1円アルミ貨幣誕生				第1回原水爆禁止世界大会（広島） 船橋ロータリークラブ発足 第8回国勢調査 人口 11万4921人 世帯数 2万3409				中央公民館建て替え完成 船橋ヘルスセンター開場 （株）船橋魚市場（北口魚市場）完成 日本住宅公団（現都市再生機構）初の入居募集開始 浜町橋（通称「赤い橋」）開通 売春防止法成立（32年施行） 手をつなぐ親の会京葉学園完成 本町通り商店街ネオン灯（通称「すずらん通り」）点灯 公有水面の埋め立てにより浜町が誕生				旧二宮町、旧豊富村の大字・小字を廃し、新町名を設定（中野木町・七林町・鈴身町・豊富町等の町名を実施）			



■船橋ヘルスセンターの大滝すべり 昭和39年



■第1回ミスふなばしコンテスト
昭和37年



■夏のシーズンが終わると、大滝すべりはプラスチック
ブラシのスキー場になる 昭和38年



■国鉄西船橋駅開業 昭和33年

昭和36年（1961年）			昭和35年（1960年）			昭和34年（1959年）			昭和33年（1958年）			
12月15日	9月25日	8月1日	7月12日	7月31日	11月	10月1日	9月15日	7月20日	6月	5月20日	4月1日	1月1日
公有水面埋め立てにより、西浦町が誕生	ソ連、核実験再開	高根台団地入居開始	新京城線 高根公園駅開業	知的障害児の通園施設藤原学園（現さざんか学園）開園	小児マヒ流行、ソ連製ワクチン使用開始	（財）船橋市開発協会設立	福祉年金の支給開始	ケネディ、米大統領に当選	前原団地入居開始	世帯数 3万1119	人口 13万5038人	第9回国勢調査
									</			

いつまでも挑戦し続けたい

20代後半からカメラに魅了されたという中村さん。「昭和35年ごろ、カメラはとても高価な物でね。趣味がカメラだというと、それは同時に道楽息子というレッテルを貼られてしまうような時代で…。でも、初めて自分のカメラを手にした時は、本当にうれしかったですよ」



中村隆次さん（宮本8）

その後、7台のカメラを新調し、スポーツやイベント、風景、動物など様々な作品を撮影。「近所に船橋競馬場があったので、よく写真を撮りに行きましたね。守衛の係の方と顔馴染みになって、開催日以外でもこっそり中に入れてもらいました」

中村さんは、これまで数々の写真コンテストで入賞してきました。現在は、写真サークルの講師を、ボランティアで引き受けて、5年間、会長を務めている地元自治会の行事でも、カメラの腕前を發揮しています。「これからも船橋の様々なシーンを撮る中で、作品づくりに挑戦し続けたいです。それが私の生きがいですね」



▲昭和38年のオリエンタルフォトコンテストで入賞した作品『仲良し』



▲昭和39年のオートレース。当時は船橋競馬場内で競技を行っていた



■公用水面の埋め立てにより誕生した日の出町 昭和37年



■知的障害児の通園施設 藤原学園開設 昭和36年

昭和39年（1964年）										昭和38年（1963年）										昭和37年（1962年）																			
11月11日	10月6日	10月	9月21日	8月	6月	5月	31日	12日	3月10日	11月	10月26日	10月7日	10月	9月16日	8月	6月1日	5月1日	1月	11月5日	10月1日	9月	6月18日	4月1日	2月															
高根台団地に団地自動電話開通 中小企業団地完成										新東京成線 前原～高根公園駅間複線営業 日米間テレビ中継に成功 ケネディ米大統領暗殺 船橋市議会報創刊 東武野田線 新船橋～塚田駅間複線営業開始 高根台終末処理場完成 市人口20万人突破 新潟大震災 東京で異常洪水、1日15時間断水 市議会、沖縄返還決議 東海道新幹線開通 第18回オリンピック東京大会開催										市制施行25周年記念式典 大神宮境内の慰霊塔完成 交通違反切符制始まる 第9代市長に渡辺三郎就任 船橋給食センター業務開始 国土地理院、基本地図に2万5000分の1を採用決定 全小学校（21校）に完全給食実施 東京国際スポーツ大会（フレ五輪）開催 高根台出張所開設 新東京成線 前原～高根公園駅間複線営業 日米間テレビ中継に成功 ケネディ米大統領暗殺 船橋市議会報創刊 東武野田線 新船橋～塚田駅間複線営業開始 高根台終末処理場完成 市人口20万人突破 新潟大震災 東京で異常洪水、1日15時間断水 市議会、沖縄返還決議 東海道新幹線開通 第18回オリンピック東京大会開催										50万坪埋立工事完了 東京都の常駐人口1000万人を突破（世界初の1000万都市） 県立船橋高等技術専門学校開校 高根木戸近隣公園開園 北陸トンネル開通 新丹那トンネル開通 若戸大橋開通									